



消防職員の主張

第37回消防職員意見発表会を開催します



日夜住民を災害から守っている消防職員、消防団員が災害現場で体験したこと、消防と地域社会との関わり、消防の将来像など、「消防防災に関すること」をテーマに意見を発表します。

この機会に、命がけで活動しているファイヤーファイターが日頃感じていることをぜひ、お聞かせください。

日 時	2月28日(日) 9時30分から
会 場	志免町民センター(糟屋郡志免町志免中央1-2-1)
発表者	消防職員6名・消防団員2名
アトラクション	志免飛龍太鼓

※入場は無料です。たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。



昨年の様子

問い合わせ 柏屋南部消防組合 消防本部総務課 ☎935-6388

中学校の制服リユースを行っています

宇美町では、中学校の制服リユースを行っています。中学校の制服を、不要になった方から譲っていただき(お預かりして)、必要な方へお譲りするものです。

【制服を譲っていただくにあたって】

- 制服は状態が良く、クリーニング済みのものに限りです。
- 性別・サイズは問いません。
- 体操服やバッグ等は対象としておりません。
- 『ふみらぼ』に直接ご持参ください。

制服リユース(再利用)とは?

不要になった方から制服を譲っていただき、必要な方へお譲りして有効活用していただくものです。※料金は共に無料です。

【制服をお譲りするにあたって】

- 必要なときに、お問い合わせください。
- 町内中学校に在学中で必要な方にお譲りします。
- お渡し場所は『ふみらぼ』になります。
- ※制服リユースの受付・問い合わせは保護者に限ります。サイズが合わない等、希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

制服が不要な方

- ・サイズが合わなくなった
- ・転校や卒業のため不要になった など

「ふみらぼ」

お譲りいただいた制服を管理し、必要な方へお譲りします。

制服が必要な方

- ・転校のため必要になった
- ・サイズが合わなくなった など

【受付場所】

ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」
宇美町貴船2丁目28-1(うみハピネス内)
※平日、第1・第3土曜日開館(9時~17時)

問い合わせ 学校教育課 教育総務係 ☎934-2245
在庫等についてのお問い合わせは『ふみらぼ』まで ☎933-1110

平成27年11月15日(日) 町立中央公民館において開催 第17回宇美町少年少女の主張大会最優秀賞作品紹介

中学校の部
最優秀賞

「料理男子と仕事女子」



宇美南中学校 二年 長浜 萌々香さん

皆さん、「LGBT」という言葉を知っていますか?これはレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字をつなぎ合わせた言葉です。同性愛者や、性同一性障害のある方を指す造語です。性別で男と女にはつきり分けられるのかな?この言葉を知って、私は「性」について、考えてみようと思いました。

私はある日、男子から「女子は料理をするべきだ」と言われました。男女平等とは言っても、私たちの周りには、「男子は力が強い」「女子は料理をする」という当たり前のイメージがあります。しかし力の弱い男子もいるでしょう。力の弱い男子は「男子のくせに力が弱い」と言われれば、当然傷つきます。逆に、女子は「女子の割には料理が下手だよな」と言われると傷つきます。そもそも「男子は力が強い」「女子は料理をする」などのイメージは、イメージです。すべての人がこのイメージに当てはまるはずはありません。男子も料理が上手な人はきつというし、私は女子だが力が強い。

も、父より母が権力を握っているのは確かです。以前の日本では、男性が働き、女性が家事をするのが一般的な時代がありました。宇美南中学校の校長先生も男性です。日本の総理大臣も男性です。社会は常に変化し続けています。社会の第一線で働く女の人も、これからはどんどん増えてくるはずです。男だから、女だからという理由では説明できない新しい時代がやってきます。私は「性」には2種類あると思います。一つは遺伝子や身体のこと、もう一つは心の中の「性」です。この二つが異なっている人もいます。今後は「性」と呼ばれるものがあふれるようになります。私はこのように人達が障害されるような世の中であってはならないと思います。彼らこそ、今後の日本に必要な存在です。なぜなら、男性の気持ちも女性の気持ちもわからない、素晴らしい中立的な立場となつて、ものを言えるからです。心理カウンセラーや政治家になつて、社会にいい影響を与えることもできるかもしれません。性別は選ぶことができます。性別の違うだけで人を馬鹿にしたり、決めつけたりすることは、決して許されるべきではないと思います。

文化財シンポジウム

「大城(大野城)の謎に迫る! —宇美町からの新たな発信—」を開催します!

宇美町四王寺山にある日本最古の古代山城「大野城跡」。国特別史跡に指定されているこの重要な遺跡は、近年の調査により新たな城門や、鉄製軸受金具の出土など、新発見が相次いでいます。つまり、今、我々が知っている大野城は、本来の姿のほんの一部ではないのか?という疑問がわいてきます。

大野城跡はその広大な広さゆえに、謎多き遺跡です。今回のシンポジウムでは、大野城の疑問点を整理するとともに、大野城内の約8割が所在する地元・宇美町から未知の領域を発信し、その謎に迫ります!

また、宇美町保管の大野城の出土品も限定で公開します。ぜひご参加ください。

基調講演 「大城(大野城)の謎に迫る!」
赤司 善彦(福岡県教育庁文化財保護課 課長)

発表 「考古学から迫る!」重藤 輝行(佐賀大学教育学部 教授)
「文献史料から迫る!」松川 博一(九州歴史資料館 学芸員)
「土木技術から迫る!」入佐 友一郎(福岡県文化財保護課 技術主査)
「古代兵器から迫る!」小嶋 篤(九州国立博物館 研究員)
「地元・宇美町から迫る!」松尾 尚哉(宇美町教育委員会 学芸員)

パネルディスカッション

コーディネーター: 赤司 善彦
パネラー: 重藤 輝行、入佐 友一郎、松川 博一、小嶋 篤、松尾 尚哉

【日時】 2月27日(土) 13時~16時30分(12時30分受付開始)
【会場】 九州国立博物館ミュージアムホール
【定員】 280名(事前申し込み不要・先着順)
※先着順ですので、定員に達した場合、入場できないことがあります。
【参加費】 無料



問い合わせ
社会教育課 ☎933-2600